

つねに時代の先へ新技術と新発想でお応えいたします!

e-pile next

某)事務所・店舗新築工事

中間層を打ち抜き支持層を確実に捉える、抜群の貫入性能

本物件は、再開発が進む武蔵小杉駅周辺に建設される地上8階建ての事務所兼店舗新築工事です。支持層はSGL-17.0m以深N値60を超える安定した地盤となるが、到達までの間に存在する中間層SGL-14.9m~16.1mのN値40以上、最大礫径50mm程の砂礫層を打ち抜くことが今回、最大の課題となりました。様々な工法が相伴機スクリーオーガ併用による提案をする中、当e-pile next工法では、これまでの経験と実績から相伴機を要しない直打ちでの提案で、工期、コスト、ともに大幅なメリットをもたらすことができ採用となりました。実施工に於いても、堅固な地盤に負けない先端特殊部の「高力構造」と貫入性に優れた「菱形切削穴」とで、全ての杭をスムーズに予定深度まで貫入することができ、高い経済性と安心した施工品質をご提供することができました。

元請様には搬入誘導や養生鉄板等の安全確保など、工事を円滑に進める様々なご協力を頂きました。

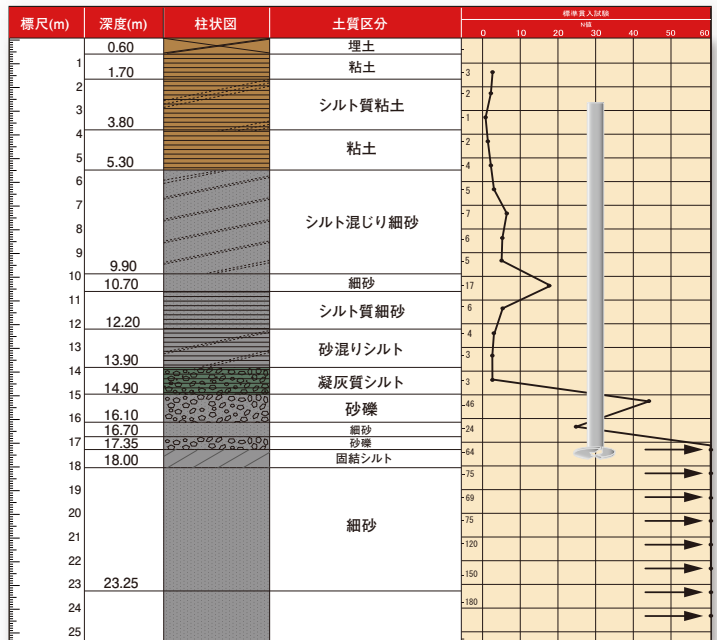
☆ご採用いただきまして、誠に有り難うございました。



工事概要

工事名	事務所・店舗新築工事	杭径	φ406.4 mm
施工地	神奈川県川崎市中原区	拡翼径	Dw 1000 mm
用途	事務所・店舗 (物販、飲食)	拡頭径	-
構造	鉄骨造 (S) 地上8階	深度	SGL-17.07m
建築面積	975.72 m ²	支持力	1,850kN
工期	2019年6月22日~2019年7月2日	本数	20本

ボーリング柱状図



国土交通省大臣認定工法

登録番号: KT-160071-A

国土交通大臣認定
TACP-0483 砂質地盤(硬質地盤含む)
TACP-0484 粘土質地盤

日本建築センター
BCJ評定-FD0540-01 砂質地盤
BCJ評定-FD0541-01 硬質地盤
BCJ評定-FD0542-01 粘土質地盤

基礎評定(引抜支持力)
砂質地盤
硬質地盤
粘土質地盤

日本環境協会
エコマーク認定 08 131022号

全ての鍵は杭先端にあり

公共土木・公共建築での活用拡大
国土交通省「NETIS」

■ 全ての鍵は杭先端にあり

杭基礎は建物荷重を支持地盤へ伝達させる最も重要な役割であり、故に、杭先端拡翼部の貫入(掘削)性、変位・変形・破断などを発生させない高い性能が要求されます。

■ 貫入性の問題を・・・「**菱型穴**」により解決しました。

■ 拡翼変形の問題を・・・「**特殊部**」により解決しました。

■ コストの問題を・・・「**自社施工**」により解決しました。

■ 高力構造 / 拡翼断面図

■ FEM解析図

建築・土木・鉄道、さまざまな場面で活躍しております。

～平成30年度補正予算「ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金」二次公募の事前予告～

平成30年度補正予算「ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金」は、中小企業・小規模事業者等が認定支援機関と連携して、生産性向上に資する革新的サービス開発・試作品開発・生産プロセスの改善を行うための設備投資等を支援するものです。この度、以下のとおり、二次公募の開始に向けた事前予告を行います。

一次公募からの主な変更点

(1) 電子申請による受付への完全移行

これまでの申請書類を郵送することによる申請書提出を廃止とし、中小企業庁のポータルサイト「ミラサポ (<https://www.mirasapo.jp/>)」会員ページ内にリンクが設けられる「ものづくり補助金電子申請システム」を使用して、地域事務局宛てに電子申請を行った場合のみを受付対象とします。

(2) 事業継続力強化計画の認定による加点実施

事業継続力強化計画とは、中小企業が策定した防災・減災の事前対策に関する計画を経済産業大臣が認定する制度です。今回の公募では、本計画を有効な期間中に申請し、認定を得た事業者(申請中を含む)を加点の対象といたします。

(3) 事業類型を一般型・小規模型(設備投資のみ)に限定

一次公募では募集を行いました小規模型(試作開発等)は事業の実施に時間を要する 경우가多く、事業期間が短くなる今回の公募においては対象外といたします。

(4) 事業完了期限は2020年1月末に設定

一次公募では事業完了期限を小規模型は2019年11月29日、一般型は2019年12月27日までとしましたが、今回の公募においては、いずれの事業類型についても事業完了期限は2020年1月末とします。

<公募期間>

二次公募受付期間(予定) 2019年8月中旬頃～2019年9月中旬頃

※採択発表は10月下旬を予定しています。

<本件に関するお問い合わせ先>

全国中小企業団体中央会 電話番号: 03-6280-5560

受付時間: 10:00～12:00、13:00～17:00(土日、祝日を除く)

※各制度・詳細は国土交通省のHPをご覧ください。

ワンポイント 健康コラム

季節の変わり目

体調管理

9月は秋祭りや敬老の日、お月見、お彼岸、秋分の日など楽しいイベントや大切な行事が多い月ですね。その一方で9月は台風が多い月でもあり注意が必要な月でもあります。今回は、そんな何かと忙しい9月を元気に過ごすための健康管理のポイントをご紹介します。

体調不良の原因と健康管理のポイント

① 気温・湿度の変化による体調不良

9月は前日との気温・湿度差も大きくなることで、急に体調を崩しやすくなると言われてしています。

また、気圧・湿度・気温変化以外に夏の間に増えたダニなどの死骸が増えるため、その死骸が空中で他の埃と一緒に舞い、吸引してしまうことも原因の一つと考えられています。

② 冷えによる体調不良

冷え症は寒い時期の代表的な症状ですが、夏場では服装や食事が『冷え』に対して無防備になりがちで、低めの温度のエアコンや冷たい飲み物、食べ物などにより、体温の低下や血行不良を起こす人が多く見られます。9月に入り、体には夏の疲れが溜まっているうえ、昼夜の気温変化も激しくなります。季節の変わり目には、しっかりと体調管理をし『冷え』による思いがけない体調不良を予防しましょう。

③ 免疫力低下による体調不良

はっきりと症状が明確ではない『風邪』が流行したりします。夏バテなどで体力や免疫力が低下しているまま『秋』を迎えてしまい、夏のスタイルで生活すると風邪や花粉症に罹患してしまう方もいるようです。着る物で温度変化に対応したり、体力を付ける食事を心掛けるなどして風邪や花粉症に対抗することが望まれるようです。休憩時間やおやつに生薑入りの紅茶などを飲むと良いようです。



日本は四季の風景に恵まれた国であるが故に、その分季節の変わり目にはっきりとした気象の変化が訪れます。季節の変わり目の体調に注意して、快適な秋を過ごしたいですね。

経理マンが行く

宮ヶ瀬ダム

やっと長い梅雨が終わったと思ったら、もう秋雨前線が活発になり、あっという間に夏が終わってしまいそうですね。しかしながら残暑も厳しいそうなので体調管理は万全にしてください。

さて、今回は弊社から車で1時間弱で行ける宮ヶ瀬ダムをご紹介します。そもそも神奈川県にある相模川は、昭和22年に相模ダムが完成し、昭和45年には城山ダムも完成しましたが、相模川流域では人口が増加し、上水道や工業用水道の需要は2つのダムが完成しても供給が追いつかない状態でした。更に当時の相模川はよく氾濫した為、治水安全を高めるために、堤防の建設や川幅拡幅を計画するも、用地の取得が大変困難でありました。更には東海道新幹線や東名高速道路の開通にあたり、万全の安全な治水対策が求められるようになっていきます。流域面積の大きい中津川は、合流点より下流に厚木市などの人口密集地帯があり、特に治水安全の重要性が指摘されていて、ダムによる洪水調節が計画されました。当初は「中津川ダム」として計画されていた宮ヶ瀬ダムは、昭和44年よりダム建設のための予備調査が開始され、2年後の昭和46年より特定多目的ダム事業としてスタートし、首都圏最大のダム計画は難航する補償交渉を経て、計画発表から29年後の平成12年12月にやっと完成しました。関東地方では奈良俣ダム(櫛俣川・158.0m)に次ぐ高さで堤高156.0m、堤頂長は約400m、総貯水容量は193,000,000立法メートルで奥多摩湖(小河内ダム)や奥利根湖(矢木沢ダム)に次ぐ関東屈指の大きなダムとなっています。総事業費は、完成当時にして約3,970億円、日本では最大級のダム事業でした。昭和46年にダム計画が正式に発表されつつも、ダム建設によって300戸が水没することから当時より猛烈な反対運動が持ち上がり、長期の補償交渉となっていました。昭和52年3月28日には水源地域対策特別措置法の第9条指定ダムとして指定され、補償費用庫補助の嵩上げ対象となりました。

最終的には城山ダム建設時の補償内容と同様に代替地造成による補償内容で交渉は妥結し、移転先としてダム上流部の宮の平地区の他、厚木市宮の里や相模原市に代替造成地を建設、宮ヶ瀬小・中学校を始め公民館、消防施設、JA出張所などの公共施設、県道13.5kmの整備等を行い住民・地域の生活再建を図りました。なお、清川村・津久井町(当時)・愛川町の3町村で移転を余儀なくされた住民は1,136名でした。去年、雨量不足によりダムの湖底に沈められた家々や道路があらわになった写真がニュースでも取り上げられたのはまだ記憶に新しい出来事です。

宮ヶ瀬湖では夏の花火大会を始め、12月に30mの天然のもみの木がイルミネーションに彩られクリスマスツリーとして湖畔に飾られます。観光放流は、放流量が1秒間に30立方メートル、放流時間は6分間、大きな轟音とともに、2本の白い水の筋がどンドン太くなっていき、大量に流れ落ちた川底からは、水しぶきがまるで煙のように舞い上がります。晴れた日は美しい虹も架かるようで、人気のショーとなっています。遊覧船も出ていますので、ぜひ一度観光してみてください。

※愛川町観光協会のホームページで詳しいダム放流時間、期間等をお知らせしています。その他、たくさんイベント行事も載せていますので確認してからお越しください。